

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立久野小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

第1学年から英語に触れることで、臆することなく英語での会話を楽しんでいる様子が見られる。授業の初めのGreetingでは、あいさつや月日、曜日、天気などを尋ねられると、元気に答える児童が多い。また、新しい単語や会話文を大きな声で復唱し、意欲的に覚えようとする姿がある。これらは、1年時から英会話の学習に取り組んできた成果であり、基礎的なコミュニケーション能力の育成や英語に慣れ親しむこと、外国語や外国の文化への興味・関心を高めることにつながっている。

英語でコミュニケーションをとる経験を積み重ね、その楽しさやできた喜びを体得させ、高学年の外国語の学習にも抵抗を感じることなく意欲的に取り組める技能や態度を養いたい。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・ゲームや歌で新しい英単語や英文を覚えられるからおもしろい。
- ・英会話学習は、楽しく勉強ができて良い。
- ・多くの英単語や英文の意味が分かるようになった。
- ・ALTやEAAの先生（外国の人）と話すことで自信がついた。
- ・段階を踏まずに、いきなり難しい英文や会話文が出てくるので、もっと日本語での説明がほしいと思う時がある。

<保護者>

- ・英語に触れる機会が、第1学年から設定されているのは、とてもありがたい。
- ・子どもが家で英語を口にしてしている様子を見ると、第1学年からの英会話学習の実施は英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成や英語に慣れ親しむことにつながっていると思う。
- ・「発音がいいね。」と先生に褒められたと嬉しそうに家で話してくれた。外国語で扱う英文は難しそうだが、自信をもって学習してほしい。
- ・「世界のいろいろな所へ行ってみたい。」と、外国へ興味・関心をもっている。今後の外国語学習への意欲につながると良い。

3. 実施の効果及び課題

「話すこと」「聞くこと」を中心に進めてきた英会話学習は、英語に慣れ親しむことや英語を聞き取る力、英語でのコミュニケーション力等の向上に一定の効果があった。また、英語への興味・関心も高めることができた。

これらを、教科化されて「読むこと」「書くこと」も加わった5・6年の外国語の学習にどうつなげ、どう生かすかが課題である。児童は、低・中学年と、英語を耳で聞いて覚え話してきた。高学年になり、読んだり書いたりすることや難易度の高い英文を扱うことに抵抗を感じ、学習に自信を無くしたり消極的になってしまったりしないようにしたい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

今後も「話すこと」「聞くこと」を中心に英会話学習や外国語活動を進め、英語を学ぶ楽しさや英語でコミュニケーションがとれたときの達成感等を十分に味わわせ、5・6年の外国語の学習に、自信をもって意欲的に取り組めるように以下の点を意識して指導を工夫していきたい。

- ・体験的な活動の中で、楽しみながら英語に親しみ、学べるようにする。
- ・ALTやEAAとの交流を通して、外国の生活や文化、英語でのコミュニケーションへの関心を高めさせる。
- ・音声を聞くと同時に英単語や英文を見せ、聞いたものと見たものや書いたものをリンクさせて、「読むこと」や「書くこと」への抵抗を和らげる。